

市長とのタウンミーティングで出された意見(要旨)【令和5年12月9日・17日開催】

NO	テーマ	提案内容	提案への取組方針	担当課	取組状況の報告
1	エンジョイ シティづくり ～だれもが生き生きと過ごせる和泉市になるには～	地域住民同士の出会いの場や、異世代交流(高齢者と子どもなど)の場などがあると良い。例えば、南部リージョンセンターにおいて、畑で作ったもので交流したり、もちつきなどを実施することで、南部地域のPRにもなる。	リージョンセンターは地域の社会的かつ文化的な交流及び活動の推進を目的に設置され運営を行っており、様々な交流活動やイベント等に利用されています。ご提案のように南部地域のPRになる取組みができるよう検討していきます。	広報・協働推進室公民協働推進担当	南部リージョンセンターの自主事業として“みんな食堂”(毎月1回開催)、“まるっといず味料理教室”(地産の野菜等を使用し連続的に開催)等を行うことで、異世代交流の推進や南部地域のPR等南部地域の要となっている。
2	エンジョイ シティづくり ～だれもが生き生きと過ごせる和泉市になるには～	子どもにかかる費用が少ない。スクールソーシャルワーカーの増員、スクールロイヤーの創設、ヤングケアラーの解決など、もっと費用を子どもにかけるようにしてはどうか。駆け込み寺等の居場所・支えとなる場所の整備が必要ではないか。	引き続き、スクールソーシャルワーカーの配置を拡充してまいります。また、スクールロイヤー導入の検討も含め、専門家チームによる学校支援体制の充実を図ります。加えて児童生徒の生活実態アンケートを実施し、ヤングケアラーを含む子どもの支援ニーズ等を把握し、適切な支援につなげていきます。	学校教育室教育指導担当	令和6年度も、専門家チームによる学校支援体制のさらなる充実を目的とし、スクールソーシャルワーカーの配置時間を拡充するとともに、スクールロイヤーを新たに導入しました。また、5月に児童生徒の生活実態アンケートを実施し、その結果をもとに、ヤングケアラーを含む子どもへの適切な支援を実施していきます。
3	エンジョイ シティづくり ～だれもが生き生きと過ごせる和泉市になるには～	道路整備を行うことで散歩をする人が増えるのではないかと思います。	市では、現在歩道のバリアフリー化や、歩道設置などの道路改良事業を行っています。引き続き、誰もが安全・安心に利用できる道路空間の確保に努めていきます。	都市整備室道路河川担当	令和6年度も、道路利用者が安全・安心に利用できるよう、道路改良事業を行う予定です。
4	エンジョイ シティづくり ～だれもが生き生きと過ごせる和泉市になるには～	一人暮らしの高齢者などは、仲間づくりのきっかけとして交流する場が必要だと思つので、例えばゴミ拾いイベントなどを行つてはどうか。	高齢者の生きがいづくり・仲間づくりとして実施している老人クラブ活動や社協のサロン活動を一人暮らし高齢者等へ周知していきます。	高齢介護室高齢支援担当	和泉市老人クラブ連合会と連携し、和泉市老人クラブ連合会ホームページや同会広報誌「すこやか和泉」にて、老人クラブ活動を一人暮らし高齢者等へ周知しています。
5	エンジョイ シティづくり ～だれもが生き生きと過ごせる和泉市になるには～	年齢層、国籍、まちにずっといる人・新しく移住してきた人など、分けて考える方が良い。多様なコミュニティで自主的に話ができる場をつくるのが大切だと思うので、これを行政が応援できる仕組みがあれば良いと思う。例えばこのタウンミーティングなどがひとつの場であり、ここで意見交換することが重要だと思う。	今回のタウンミーティングでは、年齢層・日頃の活動内容・住んでいる地域等について幅広い方の参加があり、多種多様な意見交換が実現できました。引き続き、幅広い方に参加いただけるよう、募集方法等を工夫しながら実施していきます。	広報・協働推進室いずみアピール担当	令和6年度も幅広い方にご参加いただけるよう、募集方法等を工夫しながら開催しています。
6	エンジョイ シティづくり ～だれもが生き生きと過ごせる和泉市になるには～	AIドリルや希望塾などを導入して、教育環境は良くなつていると思う。育てる側の心の安心が確保できれば、子育て環境の充実につながり、学力向上にもつながっていくと思うので、いわゆる「非認知」分野について市民等から出たアイデアを広く知ってもらふ方法があれば良いと思う。	学校では、リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやりなど、人間性等に関することも、さまざまな教育活動の中で育成をすすめています。今後も、児童生徒が自分の良さに気付く、自己肯定感をもちながら市民等からいただきましたアイデアにつきましては、市ホームページに「和泉市を元気にするアイデア」として掲載しています。多くの方に見ていただけるよう、周知等に努めていきます。	学校教育室教育センター	各学校では、授業やホームルーム、課外活動などのさまざまな教育活動を行っており、それぞれの教育活動において、児童生徒にどのような力を育成するのか、ねらいをもって取り組んでいます。
7	エンジョイ シティづくり ～だれもが生き生きと過ごせる和泉市になるには～	担任は教科を持たず、子どもを見てほしい。	担任だけでなく、学校の教職員全員で子どもたちを見守る「チーム学校」の取り組みを進めます。	学校教育室	各学校において、担任だけでなく教職員全員で「チーム学校」として子どもの支援を進めています。
8	エンジョイ シティづくり ～だれもが生き生きと過ごせる和泉市になるには～	黄金塚古墳をフォーカスして地域を盛り上げてはどうか。	これまでも和泉黄金塚古墳を取り上げた歴史ウォークや歴史講座などを実施しており、今後も継続して実施することで地域を盛り上げていけるよう努めていきます。	文化遺産活用課	令和5年度は泉北環境クリーンフェスティバルにて和泉黄金塚古墳見学会を実施した。
10	DXで築く和泉市の未来 ～デジタル技術を活かして 地域活動や行政を未来形にするには～	DXってなにか?が知られていないので、「こんなことやっているよ」を伝えることが重要。また、アナログVSデジタルではなく、2つをうまく組み合わせながら進めることがDXについて困つたことをサポートする体制づくりが必要。各地域によって住民の年齢等が違うので、エリアごとにDXの進め方を変えるなど、地域特性に応じて進めていく方が良い。	発信する情報の内容等に応じて、アナログ媒体である広報紙と、デジタル媒体であるホームページ・SNSを組み合わせながら、積極的な情報発信を行っていきます。市では市民が「いつでも」「どこでも」利用可能なオンライン申請などのサービスの提供に努めていますが、より使いやすいサービスの仕組みづくりを進めていきます。	広報・協働推進室いずみアピール担当	令和6年4月にデジタル媒体である市公式LINEのメニュー画面(リッチメニュー)をリニューアルし、ユーザーが必要な情報にアクセスしやすくしました。
11	DXで築く和泉市の未来 ～デジタル技術を活かして 地域活動や行政を未来形にするには～	アプリを活用して観光振興を行つてはどうか。	現在は、観光ポータルサイト「SATOMACHI IZUMI」やSNS(LINE・Instagram・Facebook・X)にて、情報発信を行い、観光振興に努めています。観光振興につながるデジタル技術は、デジタルスタンプラリーなど様々な技術がありますので、技術の特徴を捉え、市の観光振興に適したものを調査・研究していきます。	政策企画室IT活用推進担当	オンライン申請対応業務の拡充を行う一方で、令和5年度及び令和6年度においてデジタル格差の解消を目的としたスマートフォン教室を開催しております。今後は、市民が申請書に記載することなく住民票等を取得できる「書かない窓口」システムの構築をはじめ、単なる行政手続のデジタル化のみでなく、業務の見直し等にも取り組み、利用者にとってわかりやすく利用しやすく行政サービスの仕組みづくりを進めていきます。
12	DXで築く和泉市の未来 ～デジタル技術を活かして 地域活動や行政を未来形にするには～	DXのことを相談できる窓口・体制づくりが大切。どうしても使えない人が頼ることができる仕組みとして、申請等を代行する「代理人制度」を地域でつくるなど、「顔の見える関係づくり」ができないか。	現在は、観光ポータルサイト「SATOMACHI IZUMI」やSNS(LINE・Instagram・Facebook・X)にて、情報発信を行い、観光振興に努めています。観光振興につながるデジタル技術は、デジタルスタンプラリーなど様々な技術がありますので、技術の特徴を捉え、市の観光振興に適したものを調査・研究していきます。	産業振興室商工観光担当	観光ポータルサイト「SATOMACHI IZUMI」やSNS(LINE・Instagram・Facebook・X)にて、情報発信を行い、観光振興に努めています。令和5年度においては、令和6年3月にデジタルスタンプラリー「いずみ春のエッグハント」やInstagramのフォト投稿キャンペーン「ハルノトリコイズミ」を行い、市内のお出かけの促進を図りました。令和6年度においてもデジタルスタンプラリーやSNSキャンペーンなど、スマートフォンを活用した来訪促進事業を実施する予定です。また、観光ポータルサイトのリニューアルも計画しており、市内の店舗や観光スポット等に関する情報をより効果的にすることで更なる来訪促進を図っていきます。
13	DXで築く和泉市の未来 ～デジタル技術を活かして 地域活動や行政を未来形にするには～	DXのことを相談できる窓口・体制づくりが大切。どうしても使えない人が頼ることができる仕組みとして、申請等を代行する「代理人制度」を地域でつくるなど、「顔の見える関係づくり」ができないか。	町会・自治会が取り組む地域活動の活性化による地域コミュニティの充実・強化に向け、市としても支援を検討していきます。	広報・協働推進室公民協働推進担当	町会・自治会に対して、団体運営や地域コミュニティの活性化に関する各種補助金(町会館や掲示板に関する補助金、活動補助金、加入促進補助金など)を案内・交付しています。

市長とのタウンミーティングで出された意見(要旨)【令和5年12月9日・17日開催】

NO	テーマ	提案内容	提案への取組方針	担当課	取組状況の報告
14	DXで築く和泉市の未来 ～デジタル技術を活かして 地域活動や行政を未来形にするには～	AIやQRコードなどを使った観光振興やお店の紹介などを行ってはどうか。	現在は、観光ポータルサイト「SATOMACHI IZUMI」やSNS(LINE・インスタグラム・Facebook・X)にて、情報発信を行い、観光振興や店舗紹介などに努めています。また、QRコードを作成し、観光パンフレットに掲載するなども行っています。観光振興につながるデジタル技術は、AIやQRコードなど様々な技術がありますので、技術の特徴を捉え、本市の観光振興に適したものを調査・研究していきます。	産業振興室商工観光担当	観光ポータルサイト「SATOMACHI IZUMI」やSNS(LINE・Instagram・Facebook・X)にて、情報発信を行い、観光振興や店舗紹介などに努めています。また、QRコードを作成し、観光パンフレットに掲載するなども行っています。令和6年度においては観光ポータルサイトのリニューアルを計画しており、市内の店舗や観光スポット等に関する情報をより効果的にすることで更なる来訪促進を図っていきます。
15	DXで築く和泉市の未来 ～デジタル技術を活かして 地域活動や行政を未来形にするには～	短期・単発バイトで和泉市に来てもらい、和泉市を知ってもらうのはどうか。	交流人口・関係人口等の増加をめざし、様々な手法について調査・研究を行っていきます。	広報・協働推進室いずみアピール担当	交流人口・関係人口の増加を目指して、和泉市の各所を巡るイベントの開催やSNSによる情報発信を実施予定です。
16	DXで築く和泉市の未来 ～デジタル技術を活かして 地域活動や行政を未来形にするには～	LINEは充実しているので、LINEの機能を活用して、必要な人に必要な情報を配信できるようにしてはどうか。	必要な人に必要な情報を配信できるよう、引き続き、LINE等のSNSの効果的な活用を進めていきます。	広報・協働推進室いずみアピール担当	令和6年4月にデジタル媒体である市公式LINEのメニュー画面(リッチメニュー)をリニューアルし、ユーザーが必要な情報にアクセスしやすくなりました。
17	DXで築く和泉市の未来 ～デジタル技術を活かして 地域活動や行政を未来形にするには～	LINEは登録者数が多いことなので、発信していけば良いと思う。	必要な人に必要な情報を配信できるよう、引き続き、LINE等のSNSの効果的な活用を進めていきます。	広報・協働推進室いずみアピール担当	令和6年4月にデジタル媒体である市公式LINEのメニュー画面(リッチメニュー)をリニューアルし、ユーザーが必要な情報にアクセスしやすくなりました。
18	DXで築く和泉市の未来 ～デジタル技術を活かして 地域活動や行政を未来形にするには～	職員研修を蓄積し、データを活用(ポータル作成)すると、職員のスキル向上につながるのではないかと。	職員がいつでも過去の研修内容等を閲覧して、その研修に参加するかの判断や自身の業務一助とできるようにするため、研修に参加した際の出張てん末報告書を社内ネットワークで共有しています。	人事課	「提案への取組方針」に掲載のとおり、実施済みです。
19	DXで築く和泉市の未来 ～デジタル技術を活かして 地域活動や行政を未来形にするには～	成功体験を他自治体と共有できる仕組みがあると良い。和泉市から全国に、良い取組を広げていける。	現在は、基本的に「メール」により新聞社等へ情報提供という形で和泉市から全国に情報発信を行っていますが、様々な手法について調査・研究を行っていきます。	広報・協働推進室いずみアピール担当	和泉市からの情報発信について、新聞社等に直接持ち込みなどを行う等、積極的な情報発信を行っています。
20	地元の名所・名産品発見クエスト?! ～ふるさと納税返礼品、あなたしか知らない地元の逸品を見つけよう～	和泉市の学校給食レシピや桃山学院大学の学食レシピを「なつかしの味」などで返礼品化してはどうか。また、和泉市では「たけのこ」が返礼品になっていないそうなので「たけのこの缶詰」も返礼品として良いと思う。	和泉市の学校給食レシピや桃山学院大学の学食レシピ返礼品化については、関係各所と協議を進めてまいります。「たけのこの缶詰」については、提供可能な事業者の発掘に取り組みます。	広報・協働推進室いずみアピール担当	たけのこの缶詰について、取扱い事業者と調整を行っており、近日中に返礼品として提供開始ができる予定です。
21	地元の名所・名産品発見クエスト?! ～ふるさと納税返礼品、あなたしか知らない地元の逸品を見つけよう～	南部地域の空家や古民家を活用した宿泊や地域体験、神社巡り、古民家カフェチケットなどの導入のほか、「いずもく」を使った家具やおもちゃなどを出してはどうか。また、新しいキャッチフレーズを考案するなどし、ネット配信や情報番組でのPRを行ってはどうか。	「体験型返礼品」については、食事券やロケーションフォトなどをすでに導入していますが、引き続き、「体験型返礼品」の提供可能な事業者の発掘に取り組みます。また、「いずもく」を使用した家具やおもちゃについてはすでに返礼品として提供を行っていますが、引き続き、バリエーションの拡充に努めていきます。ネットや情報番組を活用したPRについて、費用対効果を勘案しつつ、積極的に取り組んでいきます。	広報・協働推進室いずみアピール担当	「体験型返礼品」について、令和6年5月から「ARスポーツHADO体験プラン」を返礼品として提供開始しています。また、現在は一時停止中ですが、久保惣記念美術館で撮影会ができる「ロケーションフォト」なども、近日中に提供を再開する予定です。
22	地元の名所・名産品発見クエスト?! ～ふるさと納税返礼品、あなたしか知らない地元の逸品を見つけよう～	食器や家具、みかん、食事券などがあるが、どのような層に向けて返礼品を提供するかが重要だと思う。	ふるさと納税市場の動向等の調査・研究を行いながら、ターゲットを絞った返礼品の開発等に努めていきます。	広報・協働推進室いずみアピール担当	ふるさと納税の市場分析や返礼品開発などを含むプロモーションの委託を行う予定であり、現在、専門事業者の選定を行っております。
23	地元の名所・名産品発見クエスト?! ～ふるさと納税返礼品、あなたしか知らない地元の逸品を見つけよう～	美術館などの名所に来てもらえるような返礼品や乗馬や演習場でのマウンテンバイクなど、体験型の返礼品なども提供してはどうか。 給食の人気No.1～5の詰め合わせセット、高級タオル(ホテル仕様)、高級絨毯の端切れなどをつかった返礼品はどうか。コロナ禍でたくさん余っているアクリル板を再利用して、アート作品として出品する。SDGsにもなる。	ご提案いただいた内容について、関係各所と協議を進めるとともに、提供可能な事業者の発掘に取り組みます。	広報・協働推進室いずみアピール担当	「体験型返礼品」について、令和6年5月から「ARスポーツHADO体験プラン」を返礼品として提供開始しています。また、現在は一時停止中ですが、久保惣記念美術館で撮影会ができる「ロケーションフォト」なども、近日中に提供を再開する予定です。